

平成 22 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 23 年 5 月

鳥取県立精神保健福祉センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	7 頁
8	収入事務処理状況調べ	7 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8 頁
11	不納欠損額調べ	8 頁
12	負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ	9 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	10 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
20	備品の処分状況調べ	12 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁

	精神保健福祉センター個別事項	
22	当該年度における業務の概要	14頁
23	技術指導・技術援助の実施状況	15頁
24	教育研修の実施状況	16頁
25	広報普及状況	20頁
26	精神保健福祉相談の受付状況	20頁
27	新規所内相談の実施状況	20頁
28	新規所外相談者の地域別状況	21頁
29	新規電話相談の実施状況	21頁
30	組織育成の状況	22頁
31	くらしの講座の実施状況	22頁
32	イブニングサークルの実施状況	22頁
33	通院公費負担医療・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況	22頁
34	鳥取県精神医療審査会における審査状況	23頁
35	主な施設の整備状況	23頁
36	意見、要望等	23頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
 (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係名	課の主な所掌事務
鳥取県立 精神保健 福祉 センター	こころの健康 増進課	なし	1 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する調査研究に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 鳥取県精神医療審査会に関すること。 5 各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。
	地域支援課	なし	1 精神障がい者の社会参加・社会復帰の促進に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第45条第1項の申請に対する決定及び「障害者自立支援法」第52条第1項に規定する支給認定（精神障害者に係るものに限る。）に関する事務のうち専門的な知識及び技術を必要とするものを行なうこと。 5 前各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

（平成23年 4月 1日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	
定員		6	6	4	4	0	0	10	10	
現員		(2) 8	(1) 7	(1) 4	4	0	0	(3) 12	(1) 11	()内は産休・育休職員。 産休中職員1名、育休中職員2名。
過不足(△)		+2	+1	0	0	0	0	+2	+1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	0	0	0	0	1	1	事務(1名) 「自殺対策情報センター」職員として配置

5 役付職員の調べ

(平成23年 5月 1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
福祉保健部参事監 兼 所長 兼 地域支援課長	原 田 豊	年 月 19 7	
次長兼こころの健康増進課長	大 塚 月 子	0 1	
(併) 地域支援課医長	植 田 俊 幸	4 7	本務 厚生病院医長
(兼) 主 幹	中 島 恭 司	3 1	本務 東部総合事務所県民局 企画総務課課長補佐
(兼) 主 幹	奥 田 雅 裕	0 1	出納員 本務 東部総合事務所県民局 企画総務課主幹

6 主な事業に関する調べ

(平成23年 1月31日現在)

事業名	概 要
自殺対策事業 ※経費については 精神保健福祉セ ンター運営費の 標準事務費 (6,383千円)、 及び自殺対策事 業により対応	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 自殺対策基本法では、自殺対策は地方公共団体の責務であり、地域の状況に応じて取り組むこととされており、市町村及び総合事務所福祉保健局等(以下、市町村等)の自殺対策の推進を図るため、専門的立場から技術的指導等を行った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○ 自殺対策情報センターの運営 [情報収集・情報提供]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自殺に関する統計データをまとめた「鳥取県の自殺」を作成し、市町村等に配布した。 市町村等が行う講演会や啓発物(リーフレット、広報紙等)の紹介、統計データや国の動き等について、市町村等の担当者へのメール送信により情報提供を行った。(平成23年1月末現在、送信回数81回) <p>[人材育成研修会]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自死遺族支援をテーマに研修会を開催した。(9月16日、参加16名) 「ゲートキーパー(注)研修用テキスト」を作成中であり、今年3月から来年度にかけて各保健局及び市町村等で研修会を予定している。 <p>注) ゲートキーパーとは、地域や医療、保健、福祉、職場、教育などの分野における支援活動において、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門相談機関へつなぐ役割が期待される人材のこと。</p> <p>[関係機関のネットワークの強化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉保健局の担当者を集めた連絡調整会議を開催し、各圏域ごとの取組みについて情報交換等を行った。(2回) 福祉保健局が開催する自殺対策担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会に参加し、各機関の取組み状況について情報収集するとともに、情報提供、助言等を行った。

事業名	概要
	<p>自殺対策担当者連絡会 東部5回、中部5回、西部1回 相談窓口担当者連絡会 東部2回、西部1回</p> <p>○技術的指導、援助（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日南町こころの健康づくり事業 日南町ネットワーク会議及び研修会（10/29）、こころの健康づくり連絡会及びこころの健康相談（5/24、7/22、9/29、12/20）等に出向き助言等を行った。 ・中部総合事務所及び管内市町の「眠れてますか？睡眠キャンペーン」 自殺対策担当者連絡会での助言のほか、研修会（10/8）、講演会（6/7、9/22）、管内市町が行う講演会、研修会等への講師派遣等技術的援助を行った。 <p>○自死遺族の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、鳥取市さざんか会館（偶数月）と米子市ふれあいの里（奇数月）で、土曜日に開催した。 ・参加者は、4/10（1名）、5/15（1名）、6/12（2名）、1/15（1名）であった。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策情報センターとして、市町村等への情報提供を適宜行った。 ・自死遺族の集いは、参加者が少なくても当事者同士の話し合いができるように、自助グループ「コスモスの会」のメンバーに参加してもらった。開催場所については、従来鳥取市のみで開催していたが、米子市でも定例開催することとした。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の自殺対策緊急強化基金の影響もあり、自殺対策は市町村等でもいろいろ取組まれるようになってきているが、自殺対策情報センターが情報収集・情報提供等を行うことで、市町村の取組みの効率化、活性化が図られた。 （取組みの例）・市報、町報への掲載、ホームページへの掲載（19件） ・市町村での研修会の開催（20回） <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策はすぐに効果が現れるものではないので、今後も市町村等への技術的指導を行い、地域での自殺対策が推進されるように引き続き取り組む必要がある。特に、自殺対策に積極的ではない市町村もあるので、福祉保健局と連携しながら働きかけていく必要がある。 ・自死遺族の集いは参加者が少ないので、周知の方法について検討する必要がある。
ひきこもり支援 機関連絡会	<p>ア 目的及び事業の実施状況 （ア）目的 厚生労働省の「ひきこもり対策推進事業」により設置されたとっとりひきこもり生活支援センターとひきこもり支援を行う関係機関が連携し、地域で総合的にひきこもり支援を行えるよう情報交換し、個別支援事例を検討する。</p>

事業名	概要
<p>※経費については精神保健福祉センター運営費の標準事務費(6,383千円)により対応</p>	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回(第二木曜日)午前10時~12時とし、10回開催した(平成23年1月末現在)。今年度12回を予定している。 <p><連絡会の構成員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとりひきこもり生活支援センター(県がNPO法人鳥取青少年ピアサポートに委託、ひきこもりの状態にある本人、保護者への相談を行なう) ・とっとり若者サポートステーション(国が社会福祉法人鳥取こども学園に委託、若者無業者本人及び保護者への職業的自立の支援を行なう) ・各総合事務所福祉保健局心と女性の相談室 ・精神保健福祉センター ・個別支援事例、実人員32人、延人員138人について、支援にいたる経緯や支援内容等を情報交換し、今後の支援方針を検討した。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひきこもり支援関係機関ネットワーク連絡協議会」(とっとりひきこもり生活支援センター主催)が開催された際、実際の事例を基にして訪問支援や支援機関との連携を行うための留意点を整理し、報告することができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい、自立した生活ができるよう生活能力を身につけることを目的とした生活支援について検討する必要がある。
<p>東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会</p> <p>決算見込額 30千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 10千円 一般財源 20千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>アルコール関連問題は、保健、医療、福祉の関係機関はもとより、職場、地域、家庭のなかで様々な課題をもっている。各関係機関はそれぞれに対応しているが、さらに解決を図るため、事例検討・情報交換をしながらネットワークを作ることを目的に研究会を開催する。</p> <p>(イ) 実施状況</p> <p>本年度6回開催 (19頁参照)</p> <p>イ 平成22年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク参加者から、関係機関に研究会に来てもらうだけでなく、こちらから出かけて行く様なことも必要ではとの意見があり、今年度は断酒例会、ダルクへの見学会を、それぞれの当事者体験談の後に企画した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者体験談と見学会にそれぞれ参加してもらうことで、より当事者活動について関係者の理解を深めることができた。特に、実際の会場に行き、グループ活動の様子を見ることで、聞くだけでは分からない雰囲気なども知ることができたと好評であった。 ・今年度は酒害家族からの発表も企画し、当事者だけではなく家族の思いについても知ることができ、今後の相談対応等で家族相談の際に生かせるとの意見を頂いた。

事業名	概要
	<p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの課題として、参加者が年々固定されたメンバーとなっており、顔の見えるネットワーク作りという観点からは良い点もあるが、ニーズはあるもののネットワークに繋がっていない機関もあると思われるので、そうしたニーズの掘り起しが引き続き必要と思われる。
<p>精神障害者地域 移行支援強化事業</p> <p>決算見込額 197千円</p> <p>(財源内訳) その他 197千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がい者の地域移行支援にあたり、核となる人の育成、全体的な底上げを図ること等により、県地域移行支援事業をバックアップすること。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 退院調整・地域移行支援者養成従事者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科における退院調整のアプローチについて実践的な研修会（9/11開催、43名参加。16頁第1日共通参照） ・精神科医療と地域サービスの現状についての講義と退院調整時の課題についてのグループ討議（東部会場：9/15開催、24名参加。西部会場：9/17開催、15名参加。16.17頁第2日東部・西部会場参照） <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院調整・地域移行支援をより普遍的なケアにするために、研修対象者を看護師等に絞り、より身近な支援として定着させていくことを中心に事業を実施した。2日間の全日程を終了した者(33名)には修了証を交付した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関等における地域移行支援に関する勉強会での取り組みが定着してきており、関係機関職員の意識向上や専門職のスキルアップにつながっている。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援における退院準備支援について、医療機関でより普遍的で実践的な支援となるように、今年度に引き続き看護職に絞って系統的な研修会を行うとともに、新しく配置となった担当者に対し、地域移行・地域定着支援事業の理解等を目的とした研修会を開催することが必要である。
<p>くらしの講座</p> <p>決算見込額 200千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 200千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がいのある方が、講座を通して、病気や障がいの理解の促進、趣味活動の幅の拡大及び健康の増進を行うことで、地域で自分らしい生活をしていくことを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 週2回（月・木曜日）午後1時30分～3時30分 ・4ヶ月1クールに期間を区切り、平成22年度1月末において2クール実施した。全講義の実利用者数及び延人数は、第2クール終了時点で実利用人数38名、延利用人数278名である。本年度新規受講者数は第2クール終了時点で12名である。

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 該当なし

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入

(平成23年 1月31日現在)
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		2	24,548	24,548	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	鳥取県精神障害者家族会連合会事務局の使用にかかるもの
	計(節)			24,548	24,548	0	0		
目計			2	24,548	24,548	0	0		
合計			2	24,548	24,548	0	0		

(5) 諸収入

(平成23年 1月31日現在)
(単位:円)

収 入 科 目			件 数	調 定 金 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	根 拠 法 令 名 等	備 考
目	節	細 節							
雑入	雑入	精神障害者家族 会連合会利用分 光熱水費等	1	9,661	9,661	0	0	公有財産事務取扱 要領	
		自立支援医療 意見書作成料	4	18,900	18,900	0	0	障害程度区分の医師 意見書の取扱い及び これに係る施行事務 補助金について(厚 生労働省事務連絡)	
目 計			5	28,561	28,561	0	0		
合 計			5	28,561	28,561	0	0		

用品調達等集中管理事業特別会計

(5) 諸収入 該当なし

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成23年 1月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	(支出年月日) 支出金額 (円)	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
(精神衛生費) 支出額が10万円 未満のもの					() 60,000		
目 計					() 60,000		
合 計					60,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料 該当なし

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1.4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)	
行政財産	本館	鳥取市江津318-1	972.80	202,620,785					無		972.80	202,620,785	
	車庫	鳥取市江津318-1	32.50	4,757,295					無		32.50	4,757,295	
	自転車置場	鳥取市江津318-1	8.11	1,107,769					無		8.11	1,107,769	
合計			1,013.41	208,485,849							1,013.41	208,485,849	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払い状況

(平成23年1月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手類	71,890 円	154,000 円	167,980 円	57,910 円	
合計	71,890	154,000	167,980	57,910	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成 23年 1月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
165 枚	0 枚	5 枚 15,400 円	160 枚

(3) 債権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成23年 1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	団体事務局	鳥取市江津318-1	3.3 m ²	H22.3.24	H15.4.1	H22.4.1 ~ H23.3.31	円 単価・年額 21,280	21,280	鳥取県精神障害者家族会連合会	
計								21,280		
普通財産		該当なし					月額・年額			
計										
合計								21,280		

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成23年 1月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分				備 考
							売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額 ・ 処 分 費 用	
冷蔵庫	1	H3.10.9	年 5	円 114,330	H22.9.15	老朽化 による 故障の ため	棄却	処分 (リサイク ル業者)	H22.9.22	円 5,355	
合 計	1			114,330						5,355	

2 1 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成23年 1月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
公用車	1	円 リース車両 (79,695)	物品保管主任 木下直子	不明 (H22.12.18 ～12.21頃)	福祉相談センター 車庫	H22.12.21昼頃に公用車を使用しようとした職員がフロントガラス上部の亀裂に気づいた。H22.12.18の使用時には損傷は認めておらず、損傷の時期、原因は不明である。	H22. 12.24	—
合計		79,695						